

バックストロークレッジ（バックストロークスターティングデバイス）の使用について

2016. 1. 5
鶴岡水泳連盟

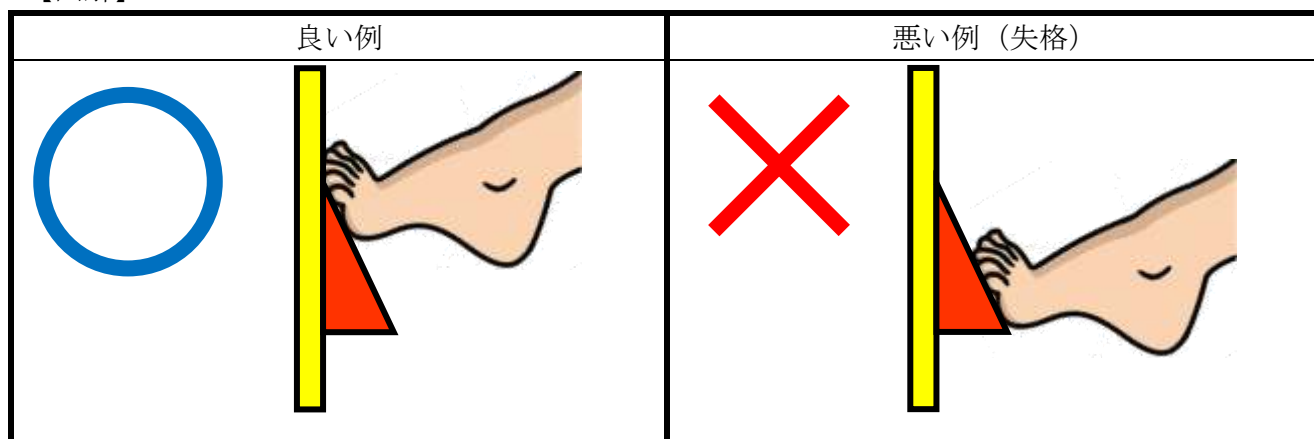
国際水泳連盟により競泳競技規則が改定されました。この中で、背泳ぎのスタートを補助する器具（バックストロークレッジ 以下バックレッジ）の使用が認められました。

バックレッジを使用してスタートする場合は、両足のつま先がタッチ板に触れていないと「指定の距離を泳いでいない」とみなされ失格となります。以下、競技規則と図（イメージ）をご覧ください。

【SW6. 1】

FINA 原文	Prior to the starting signal, the swimmers shall line up in the water facing the starting end, with both hands holding the starting grips. Standing in or on the gutter or bending the toes over the lip of the gutter is prohibited. When using a backstroke ledge at the start, the toes of both feet must be in contact with the end wall or face of the touchpad. Bending the toes over the top of the touchpad is prohibited.
JASF 和訳	出発合図がなされる前、競技者はスタート台に向き、両手でスターティンググリップを持っていなければならない。排水溝に足を掛けたり、排水溝の縁に足の指を掛けてはならない（プールの縁、タッチ板の上端についても同様とする） バックストロークレッジを使用する場合は、 両足のつま先はタッチ板に接していなければならない。

【図解】



現在は国際大会でOMEGA社のバックレッジが使われていますが、今後、国内大会でも使用されるようになります。日本水泳連盟では「4月の日本選手権から使用する。」としていますが、春季J.Oでの使用を否定していません。

当連盟では、平成28年1月9～11の新年フェスティバルならびに1月31日の春季J.O県予選の公式スタート練習において、練習用のスタート台にバックレッジを設置して背泳ぎ専用のスタートレーンとします。また、2月28日の山形県チャレンジ記録会では背泳ぎのスタートにはバックレッジを使用して競技を行います。

全国大会前に経験と技術を向上させていただければ幸いです。